

**JAグループ佐賀**は、平成27年のJA県大会決議に基づき、

農業者の所得増大

農業生産の拡大

地域の活性化

## の3つの目標を掲げ 自己改革に取り組んでいます！



### なぜ自己改革なの？

- 政府は、「農林水産業・地域の活力創造プラン」で決定した農協改革を進めるため農協法を改正し、JAの改革実践状況や組合員のJA評価を確認することにしています。
- その結果しだいでは、JAに対し、さらなる組織・事業の変更・縮小が強制され、結果的に皆さんの「営農と地域の暮らしに貢献するJA」としてあり続けることが困難になってしまうかもしれません。
- JAでは、これまで事業機能や経営を高める改革をすすめてきました。社会経済の環境変化の中で、改革に終わりはありません。
- こうした状況を踏まえ、目下の課題は、第一に「さらなる改革の実践強化」、第二に「その取り組みを皆さんに説明し、真に皆さんの理解を得ること」で、その結果、JAとしての結束を強めることにつながるものと信じています。
- これが、今すすめている自己改革なのです。



### 具体的にどのように取り組んでいるの？

- 自己改革については、県内JAがそれぞれの規模や状況にあった取り組みを策定し、各種事業計画に盛り込んで取り組んでいます。  
主な自己改革の取り組みは、裏面のとおりです。

# JAグループ佐賀の自己改革の取組事例

JAグループ佐賀が取り組む自己改革の一部をご紹介します。

## 農家・組合員の規模拡大・コスト削減に向けた取組み

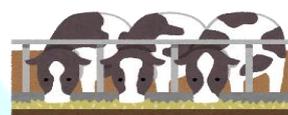
- 組合員等のニーズに対応するため、平成 28 年 4 月に「JAグループ佐賀 県域担い手サポートセンター」を設置しました。
- 当センターでは、JAグループ佐賀における農業生産振興を図るため**経済事業、畜産・酪農、園芸部門**の支援を実施しており、

3力年で  
総額 17 億 6,500 万円の助成

を予定しています。

### 具体的な取組み例

- 肥料・農薬の満車直行や大型規格の利用拡大を図るため、**フォークリフトの購入資金の 40% (上限 100 万円)**を助成する取組み (**3力年の助成総額 6,000 万円**)。
- 畜産酪農家の経営の発展と生産頭数の拡大のため、牛舎のリフォームを行う人に、**事業費総額の 30% もしくは 600 万円のいずれか低い額**を助成する取組み (**3力年の助成総額 1 億 8,000 万円**)。



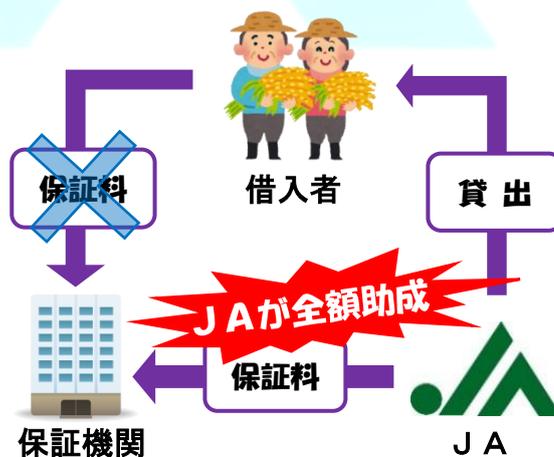
他にも、多くの支援を行っています！

## 農家・組合員の設備資金等借入時の負担軽減の取組み

- 組合員の借入時の負担を軽減するため、平成 28 年 4 月から 3 年間、JAから設備資金等を借り入れる際の**保証料を全額助成**しています。
- 平成 29 年 1 月までの **10 か月間**では、910 件の申請をいただき、

約 7,000 万円の助成

を行いました。



各JAの具体的な取組み・実践状況については、平成 29 年度通常総(代)会資料でご報告します。



平成 29 年 4 月  
JAグループ佐賀

<問い合わせ先>

JA佐賀中央会・改革企画課 ☎0952-25-5114

